



大 学 八 硬 式 野 球 部

春・秋リーグ連覇へ祈願

八 戸

八戸学院大硬式野球部は3月31日、八戸市の櫛引八幡宮で必勝を

全国大会出場も

祈願した。今年は、13日から開幕する北東北大学野球の春季と、お盆明けの秋季の両リーグ戦連覇が目標。選手たちは神前で祈りをささげ、勝利への意欲を新たにした。

八学大は昨年の秋季リーグで9季ぶり16度目の頂点に返り咲くも、明治神宮大会出場を決める一戦で同地区ライバル・富士大に敗北。2019年以來の全国大会出場はチームの悲願だ。

この日は、コーチから今年昇格した新沼館貴志監督(42)と選手ら計23人が参拝。玉串を奉てんした後、絵馬を奉納した。

新沼館監督は取材に「今年こそ全国の舞台で関東の大学に力を見せたい」と強調。4番サードの小林日出主将は「守備で投手を助け、勝ちにつながる打撃を実践したい」と抱負を語った。

(桑田友人)

北東北大学野球のリーグ戦連覇に向けて、必勝祈願した八戸学院大硬式野球部